

「高等学校等就学支援金」関連手続（2020年7月以降分）についてのお知らせ

皆様ご承知のとおり、就学支援金制度は、毎年当該年度の課税額等が固まる時期（6～7月）に都度、（皆様の場合は千葉県総務部学事課が）最新の収入状況を確認のうえ判定し、7月以降の受給資格とランクを決定する仕組みとなっています。

前年度までは支給ランクが5段階でした〔「支給なし」・「9,900円/月」（通常）・「14,850円/月」（1.5倍）・「19,800円/月」（2.0倍）・「24,750円/月」（2.5倍）〕が、この4月より3段階〔「支給なし」・「9,900円/月」・「33,000円/月」〕となり、より手厚い支援制度となりました。また、判定基準の改定もしばしば行われていますが、今回（2020年7月）から新たな基準で判断されることとなりますので、ご承知おさください。ただし、この制度の根幹である年収約910万円未満の世帯の方が支給対象となることに変更はありません。

《就学支援金が支給される収入基準》

市区町村民税の課税標準額 × 6% － 市区町村民税の調整控除の額★	親権者の年収 (合計額)の目安★	支給ランク	月額	年額 (月額×12)
154,500円未満	590万円未満	加算あり	33,000円	396,000円
304,200円未満	910万円未満	加算なし	9,900円	118,800円
304,200円以上	910万円以上	支給なし	—	—

- ★保護者（親権者）の合算により判断されます。なお、住民税の課税地が政令指定都市の場合は、調整控除の額に3/4を乗じます。
- ★課税標準額は、勤務先から配付される住民税の「令和2年度特別徴収税額通知書」、または市区町村から郵送される住民税の「令和2年度税額決定納税通知書」、市区町村窓口で発行する「所得課税証明書」などで確認できます。
- ★年収の目安について、保護者のうちどちらか一方が働き、高校生1人（16歳以上）、中学生1人で構成される4人世帯を想定しています。

新基準が多少複雑なため、対象となるかどうかわからない場合は、申請されることをおすすめします。

今回の手続について

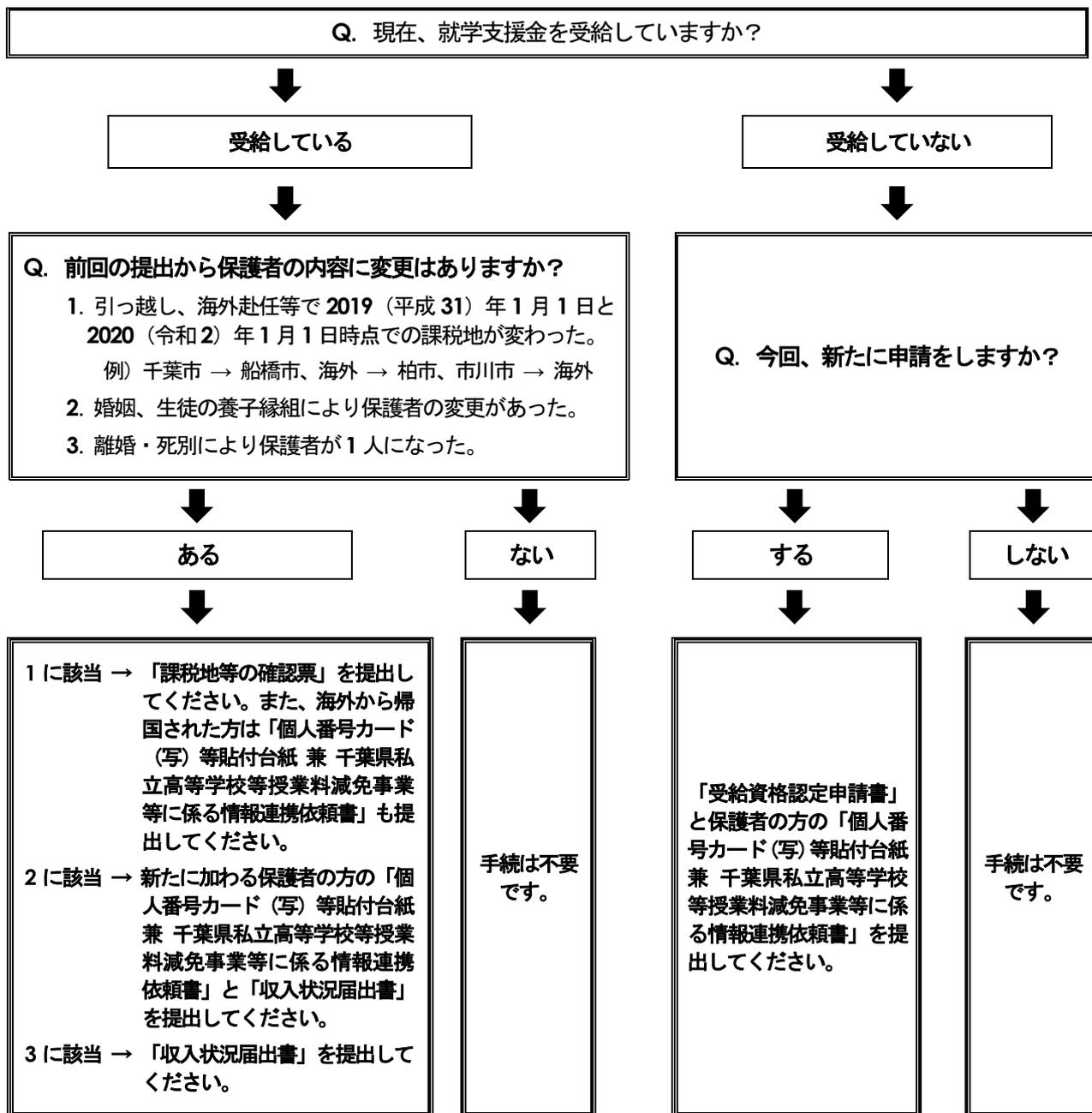
すでに就学支援金受給資格の認定を受けている方と、認定を受けておらず新たに申請される方では手続や提出書類が違います。裏面で該当される項目をご確認ください。

- \* 各提出書類については、学校ホームページ「事務室より」【就学支援金関連手続】よりダウンロードするか、事務室までご請求ください。
- \* 現在認定を受けていて保護者の変更がない方は、手続不要です。申請時に提出されたマイナンバーをもとに7月以降の給付について審査が行われます。
- \* 各書類は、市販の封筒等に入れ厳封のうえ、**7月20日（月）**までに事務室に直接提出してください。千葉県への学校経由正式申請日程の都合上、期限厳守をお願いいたします。なお、クラス担任は書類を受け取ることができません。

☞事務処理を県から委任されている事務室の担当職員のみが預かり、厳重保管します。

- ◆ 提出していただいたマイナンバーをもとに千葉県が審査をします。
- ◆ 結果については、千葉県からの結果が届き次第、後日個別にお知らせいたします。

《裏面に続きます。》



## 今後の手続について

◇ 就学支援金受給中に以下の事実が発生した場合は、速やかに事務室までご連絡ください。

- ・ 婚姻、離婚・死別により保護者の変更があった。
- ・ 税額の更正により課税標準額に変更があった。

◇ 途中からでも申請ができます。

- ・ 上記提出締切日に間に合わなくても途中から申請できます。ただし、申請をした月からの認定になり、遡っての支給はありません。
- ・ 条件不適合で認定を受けていない方で、離婚・死別により保護者の変更が生じた方も途中から申請ができます。申請を希望される場合は、速やかに事務室までご連絡ください。